



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

138号

2022年4月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



【3月定例会】

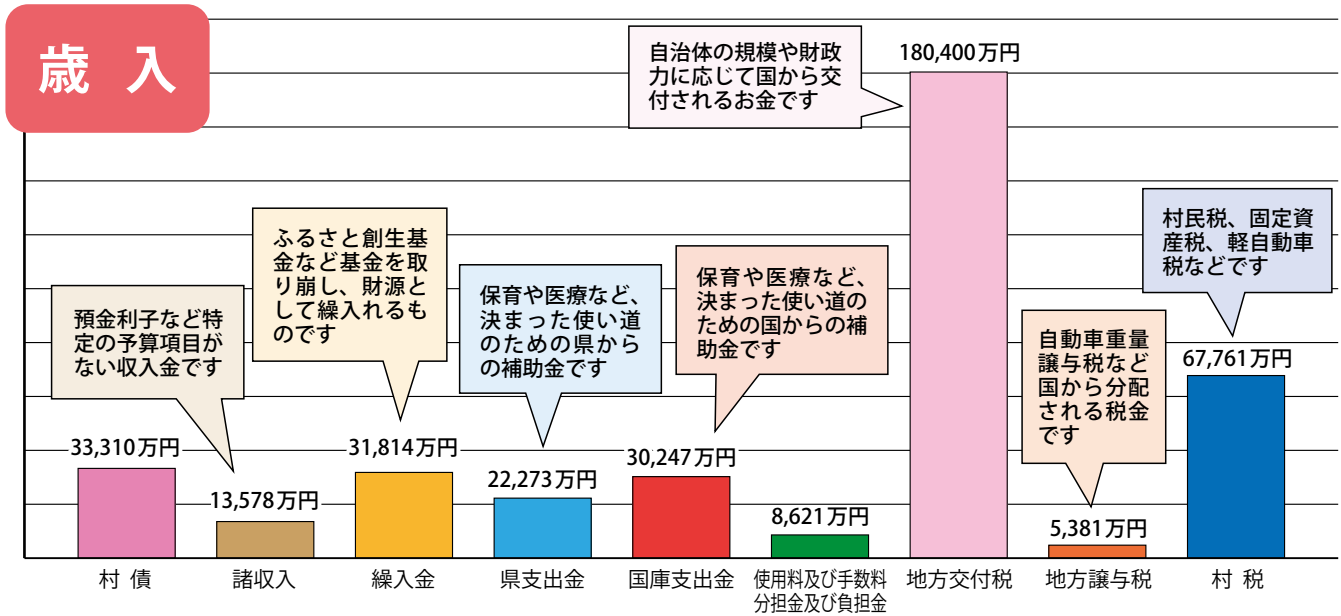
- 令和4年度当初予算 2 - 3
- 予算審査特別委員会 4 - 5
- 一般質問(9名) 6 - 11

【委員会】

- 常任委員会の名称変更 11
- 高山村議会新春講演会 12

令和4年高山村消防出初式が、4月3日に、人数を最小にして開催されました。高山村長表彰及び定例表彰の授与が行われました。

当初予算 41億円 (418,700万円)



「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める請願については、不採択となりました。

請願 1件

高山村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例等6件を全員賛成で可決しました。

条例等

ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議を可決しました。

決議

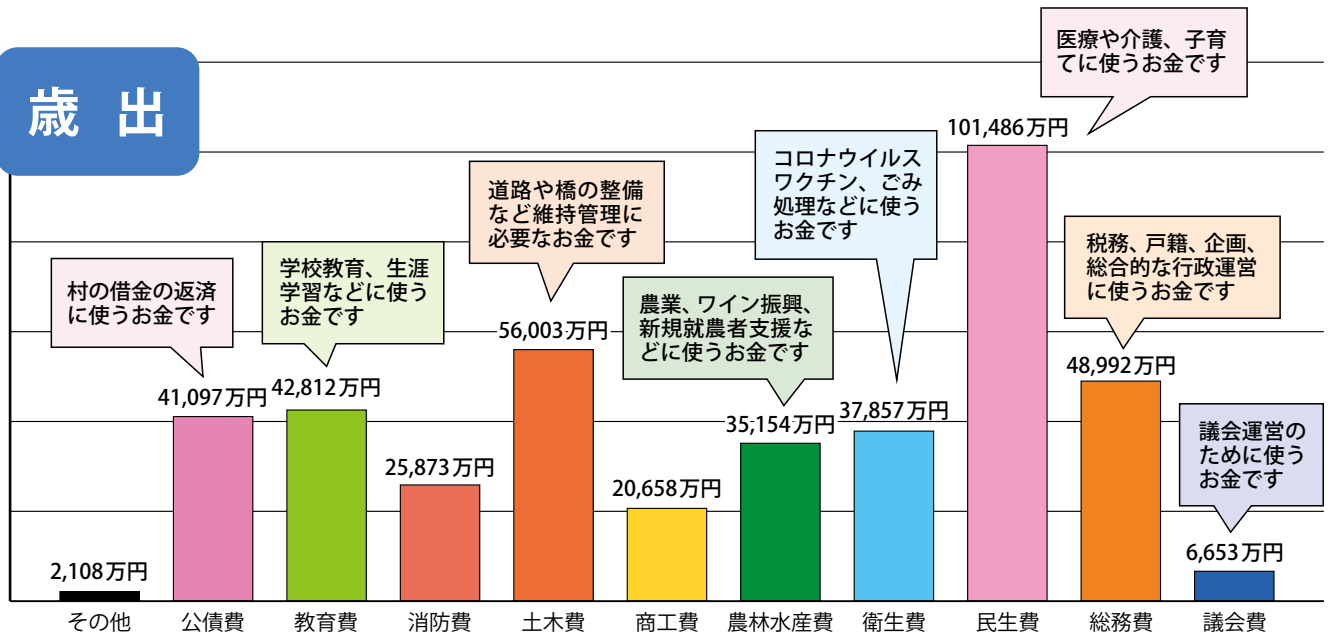
3月定例会

令和4年3月定例会は3月3日から3月18日までの日程で開催され、会議の中で柴田副議長により、「ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議案」が発議され、全会一致で可決されました。今議会には令和3年度補正予算、令和4年度当初予算、条例、同意案件など計28件が提案され、いずれも原案通り可決されました。一般質問には、9名の議員が登壇し、村政の課題などについて質問しました。

特別会計・企業会計予算額 (万円)

| 会計名 | 予算額 | |
|---------------------|--------|--------|
| 国民健康保険特別会計 | 85,739 | |
| 診療所特別会計 | 7,490 | |
| 介護保険特別会計 | 75,395 | |
| 後期高齢者医療特別会計 | 8,850 | |
| 温泉開発事業特別会計 | 4,020 | |
| 農業集落排水事業特別会計 | 8,692 | |
| 下水道事業特別会計 | 24,761 | |
| 公営企業会計 (上水道事業会計) | 収益的支出 | 12,026 |
| | 資本的支出 | 6,629 |
| | 計 | 18,655 |

歳出



村民ホール整備事業

2,658万円

村民が集い、利用しやすく、県産材を利用した木の温かみを感じる村民ホールにする。談話スペースや乳幼児の待合スペースも設置する。(事業実施期間 令和4～5年度)



消防ポンプ車更新事業

5,100万円

須坂市消防署高山分署の消防ポンプ車の更新。



消防団員処遇改善事業

694万円

出勤報償費等の見直しにより消防団員の処遇改善を図る。

道路新設改良事業

5,590万円

村道荒井原紫2号線歩道整備事業 (高山大橋から高山小学校への通学路)

山田神社公衆トイレ整備事業

2,553万円

通年利用を可能とするトイレにすることで、地域の衛生環境の充実を図る。



商品券発行事業

2,200万円
(内事務費 200万円)

発行総額 10,000万円
(プレミアム分 2,000万円)

電気柵維持管理 交付金事業

拡大 交付単価
20千円/km → 30千円/km

特別委員会

3月9日から15日まで、令和4年度予算を集中審議するための予算審査特別委員会を開きました。委員長に柴田弘男議員、副委員長に久保田雄吉議員を選出、4月に再編される新たな課・室ごとに、予算に対し慎重に審査を行いました。

総務課

Q 当初予算における地方交付税の留保はどの程度あるのか。

答弁 緊急的な事象に備え、1億円程度を留保しています。

定住支援室

Q 特定空き家の対策の予算は。

答弁 県外にいる所有者との直接交渉する旅費等を計上しています。

健康福祉課

Q 民生委員の役割が大きくなってきたが、人的・経費的に充分か。

答弁 人数は国の基準により委嘱されており、原則、ボランティアであるが、国からは活動費が、村からは福祉委員としての報酬を払っています。

いが、村民優先になっています。

住民税務課

Q 住民票等のコンビニ交付の開始時期、利用方法は。

答弁 令和5年2月頃を予定しており、利用にあたっては、マイナンバーカードと暗証番号によって操作していただきます。

Q ふるさと納税寄付金が実績に対し少なくなかないか。

答弁 令和3年度実績は4千万円程度と見込まれるが、当初予算では確実なところで計上しています。

Q 就農おためし住宅使用料の算定根拠は。

答弁 1回、10000円で、4組、8回を想定しています。

Q 人間ドック補助金には利用条件があるのか。

答弁 後期高齢者を対象とし、交付要綱により、日帰りは2万円、1泊は3万円などを交付しています。

Q 山田神社公衆トイレ改修工事、工期と清掃先はどこか。

答弁 新年度に入って早急に工事を発注し、秋には完成させたい。清掃管理は社協に委託しております。



会計係

特に質疑はありませんでした。

議会事務局及び 監査委員事務局

Q 村内の特別養護老人ホームについて、入所待機者はいるのか。

答弁 施設と個人の契約であるので、村では把握していません。

Q 議会で中継を村のホームページ上で見られるようにすることのだが、いつから予定しているのか。

答弁 本年6月議会から視聴できるようにしたい。

令和4年度 予算審査

産業振興課

Q 新規就農者の中古農機具の購入補助はないのか。

答弁 これまでに要望を受けたことはないが、今後検討します。

Q リンゴの防除、薬剤調合施設利用に対する補助はないのか。

答弁 防除に関する補助はないが、日滝原地区に防除用水貯水施設を整備したので、ご利用いただきたい。

Q この冬の豪雪により、倒木による電気柵の破損被害が多く発生すると予想されるが、復旧に対する補助はあるのか。

答弁 村では10万円を超過した分を補助することとしています。

Q トライアル補助事業、もつと使いやすいものとして、周知していくべきではないか。

答弁 内容を検討しPRしていきたい。

教育委員会

Q 一茶館の屋根の茅葺き工事、現在では珍しい作業であるので、記録を残すとか村民に周知するよう要望する。

答弁 ご意見を尊重し、前向きに検討します。

Q 給食材料の村内産の割合は、令和2年度は、16・4%であります。

建設水道課

Q 防犯街路灯のLED化の改修率は、改修を促進すべきではないか。

答弁 全体数は、区等の管理のため村では把握はしていない。本年度は137カ所を予定しており、補助率は3分の2としています。

Q 高山大橋がずれているように感じたが、定期的な点検を行っているのか。

答弁 5年毎の点検が義務付けられており、高山大橋は異常なしの結果となっています。

総括質疑

一般会計

山崎秀治 議員

一問目 にぎわいの場創出事業について、行き詰まっているのではないかと、構想自体の撤回、根本からの見直しが必要ではないか。

内山村長答弁

植物の保護を求める皆さんからの了解が得られたため、関係者と協議を進め、構想を逐次進める。

二問目

子育て支援について、家庭育児支援事業を見直し、すべての3歳未満児を対象にすべきではないか。また、小中学校への入学祝金の増額が必要ではないか。

内山村長答弁

乳幼児家庭育児給付金は、家庭で3歳未満児を育児されているもので、全ての3歳未満児のいる家庭に給付することとは、現時点では考えておりません。また、入学祝金の増額は、乳幼児も含めた子育て支援策の充実を、総合的に勘案し支援を行っているもので、いくらが妥当なのかの判断は難しい。

三問目

職員の定年延長のスケジュールは、条例改正は、6月議会か。

内山村長答弁

令和5年4月1日から施行され、定年の年齢が、60歳から、65歳に引き上げられるもので、村では令和4年度に総務省のガイドラインに沿って、事務手続きを進め、9月議会への条例改正等の提案をめざします。

国民健康保険特別会計

山崎秀治 議員

質問 基金を活用して、国保税を下げる考えは。

内山村長答弁

県に支払う国民健康保険事業納付金は、本村のような小規模な保険者は、ひとたび高額医療が発生すると、保険給付費が一気に増大するため、国民健康保険税を引き上げる必要が生じます。そのような有事の際は、基金を取り崩し、加入されているご家庭への影響を最小限に抑えて参りたい。

国民健康保険税の課税方式の4項目のうちの資産割を、令和9年度までに廃止するよう、県から指摘を受けており、令和4年度以降は、保険税算出基準の見直しを行い、保険税の急激な引上げとならないよう、基金の活用も含めて慎重に検討してまいりたい。

令和4年 第2回高山村議会 3月定例会一般質問

| | 質問議員 | 質問事項 |
|----|--------|---|
| 1番 | 梨本 進 | 1 若者世帯に向けた移住定住施策について 2 須坂長野東インター周辺開発を見据えた本村活性化策について |
| 2番 | 勝山 正弘 | 1 公共交通網対策の見直しについて |
| 3番 | 沖島 祥介 | 1 高山村ブランドのリンゴの存続危機について 2 役場の窓口対応について 3 ボランティア活動と健康ポイントカード制度について |
| 4番 | 山崎 秀治 | 1 学校給食費の無償化について 2 補聴器購入への助成制度について 3 新型コロナウイルス感染症について |
| 5番 | 久保田 雄吉 | 1 ライブカメラについて |
| 6番 | 黒岩 清道 | 1 高山村の公共交通について 2 役場の職場内の雰囲気について |
| 7番 | 湯本 辰雄 | 1 子供の医療費について 2 同性パートナーシップ制度について |
| 8番 | 高井 央葉 | 1 移住定住対策について 2 高校生通学補助について |
| 9番 | 滝澤 聖 | 1 松川及び支流河川の河畔林整備について |

梨本 進 議員



若者世帯に向けた
移住・定住施策について

答 助成事業の充実により、
若者世帯の定住促進を図りたい

問 ①若者世帯、子育て世帯の為に宅地整備計画は。②過疎地区への若者世帯の移住、定住の拡大施策は。

村長

村では若者世帯の増加策として、「若者定住促進住宅」や「新規就農者住宅」などの村営住宅を整備してきた。空き家活用推進事業では、家財処分費用、空き地や空き家の購入費用、また増改築費用などの助成を大幅に引上げるほか、親と同居の新築、増改築に50万円の助成で、若者世帯の定住促進に努めて参りたい。



本年度より定住支援室が新設になります。

須坂長野東インター
周辺開発を見据えた
本村活性化策について

答 周辺市町村と連携して
活性化策を講じて参りたい

問 人流変化を見据えて活性化策を講じるべきでは。

村長

県内屈指の大規模開発事業で、雇用創出や近隣地域全体が大きく発展すると期待している。高山村のPR、観光、特産品販売などで様々な施策を講じていく必要がある。今後、農業、商工業、観光業の皆さんの意見をお聞きして、活性化に繋がる施策を検討して参りたい。令和4年度では「特産品開発支援事業」や「にぎわいの場トライアル事業」などを予算計上して、特産品開発や高山村への誘客のための施策を講じてまいりたい。

勝山 正弘 議員



公共交通網対策の見直しについて

答 可能な範囲で見直しを行い、
利用しやすいサービスの提供に努めたい

問 平成30年より現在の公共交通網が実施され、ふれあい号、デマンドタクシーで構成され運用されています。学生、高齢者、障害者等は交通弱者で、バスは生活上不可欠な移動手段であります。また、村はそれぞれ70%を負担するとしているが、実際の利用は少なく、通学は家族が送迎し、高齢者は自分で車を運転しており、バスの乗車は空の状態が多い。この制度の運用にあたっては『社会情勢や住民のニーズの変化を踏まえて、適宜見直し

村民生活課長、副村長



①長電バス、支線バスについては年々利用の大幅な減少がみられます。路線バスの乗降数は長電バス側で数値を把握しておらず利用料金のみで推測とのこと。残念ながら見直しは図れていないのが現状であります。バス会社との管理を徹底します。
②現段階では負担額はやむを得ないものと考えています。今後、現在の路線バスの存続の必要性など、十分に検討を行うとともに、その費用対効果も含めて、第二次の計画策定に向け作業を進めて参ります。

沖島 祥介 議員



**J A高山共選所統合による
高山村ブランドのリンゴ存続危機について**

答 産地としての地位を保つために、これ以上リンゴの出荷量を減らさないように出荷体制を強化するための支援が必要と考える

問 J Aながの高山共選所では、リンゴ直売期間には毎年約2万人の方々が訪れ、9,000万円程の売上がある。高山共選所は今後、須坂フルーツセンターへの再編が進められており、そうなれば「高山のりんご」というブランドが無くなってしまうのではないかと懸念している。

産業振興課長 会員の減少対策として現在、「ハーフコネテナの導入」、「庭先集荷」を実施している。村では、令和2年度より苗木の購入補助、棚資材の補助率を上げて実施している。

問 高山農業機械センター集約の計画について村の対応は？

産業振興課長 今後、J Aながの等の皆さんと相談の上、必要な対策を検討していく。



毎年、多くのファンに人気の高山村のリンゴ。

**役場の窓口対応があまり良くないと耳にする
が、どのような教育を進めていく考えか？**

村長

「気持ち良いあいさつ」をはじめ、改めて接遇、マナー等基本的な教育が必要と認識。常に活気ある明るい職場の運営に努めていく。

健康ポイントカードと新たなボランティア活動によるポイント制度との活用はできないか？

村民生活課長

健康ポイントカードは国の事業なので、ボランティア活動との連携は難しい。村主導ではなく、各行政区の特色を活かした上での工夫を期待する。

山崎 秀治 議員



公約守り給食費は無料に

答 140円補助が妥当

問 村長は、1期目の村長選公約で「小中学校の給食費を段階的に無料に」と約束している。この公約に真摯に向き合い、早期に完全無料化すべきでないか。

村長 現状認識から現時点では、140円補助が妥当と考えている。



**子どものワクチン接種
どうする**

答 4月以降実施する

問 新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種の状況はどうか。子どもの接種についてどう考えるか。第6波で打撃を受けている業者などに、さらなる支援を求める。

村長

**高齢者の補聴器に補助を
今後検討したい**

問 人の聴力は加齢とともに低下し、難聴は認知症になる可能性を高めてしまうという。補聴器は難聴を改善するために有効、高齢者への補聴器補助を求める。

村民生活課長 身体障害者手帳を持つ者の、国の補装具費支給制度活用を基本としたい。軽度の者

村長 3回目ワクチン接種は、3月末までに希望者の97・2%を見込んでいる。子どもへの接種は、3月中に接種希望の有無についてアンケートを取り、この結果により接種体制を決定し、4月以降実施する。事業者への支援では、融資への利子補給、プレミアム商品券の発行等のほか、「第6波対応事業者支援交付金事業」を実施する。国の補正予算も活用し、切れ目のない支援を進めていく。

久保田 雄吉 議員



ライブカメラの運用について

問 以前はライブ動画の配信だったが現在は静止画の更新運用に変わっているのはなぜか。とくに山田

牧場は集客対策としても臨場感があるライブ動画での運用が望ましいと思うがどうか。

総務課長

観光宣伝にはライブカメラを動画配信するこ

とはより効果的と考えられますが、サーバー更新など3百万円以上の経費が必要であり本村は松川溪谷や笠岳を中心とした風景を配信しているので現在の静止画での運用を継続してまいりたい。

問

高山村から見える善光寺平の100万ドルの夜景をライブカメラで全国に発信すれば村の観光宣伝にも効果的と思うがど

うか。(せめて役場のカメラを善光寺平を中心に写すようにしたらどうか)

総務課長

役場から見える善光寺平の夜景や北アルプスの眺望の素晴らしいですが、季節ごとの村の風景を閲覧して頂くという現在の運用を基本に慎重に検討してまいりたい。



役場屋上のライブカメラ。

黒岩 清道 議員



高山村の公共交通について

問 村民の足である公共交通ですが、現在長電バスと「ふれあい号」とデマンドタクシーの3

本立で運行しています。しかし、地区によって利便性の差が大きく村民や観光客からは利用しにくいとの意見を聞きます。なぜ乗り継ぎ場所が平日定休日のあるYOUU遊ランドなのか。国の公共交通の規制も緩和しています。県内外では、安い物のバスを運行したり、福祉車両を併用したりの事例が多くあります。そこで、公共交通のあり方を今から検討する必要があると思われませんが。

村民生活課長

平成30年10月に新たな公共交通サービスを開始してから3年余りが経過しました。バス利用者の減少に伴い、長電バスが撤退を検討される中で、維持継続を図るために、採算性が見込めるYOUU遊ランド付近を終着点として、公共交通を再編させていただきました。しかし、現段階では大幅な見直しは難しいのですが、利用される皆様からのご意見等を十分にお聞きしながら、安全安心な公共交通システムの構築を令和4年度から検討に入っており、検討しております。

役場の職場内の雰囲気について

問 役場とは高山村の顔だと思えます。しかし「雰囲気が悪い」「活気がない」などの声が聞かれます。仕事にあおられ、周りが見えない職員が増えている気がします。また、後輩を育てる意識が少ない様に感じます。部下は上司の背中を見て育つと思います。技

量のある人を再雇用する事は、メリットがありますが、逆に部下が育たず、やる気が下がるといって、デメリットもあります。また、来庁時に音声で、あいさつをしやすくする工夫も含めて、今後、元氣な高山村を作る為にも、村民の声をどう受け止めて行くのかをお伺いします。

村長

役場で働く職員は、高山村の顔である。私も全く同様の意見であります。職員には、明るく風通しの良い職場環境をつくるため、対応が悪いとのお話を耳にした時は、直ちに周知を図るよう指示して参りました。しかし、未だに職員に十分浸透できていないことに対して大変残念であると痛感しております。改めて村民に目を向けた業務であることを肝に据えて、「気持ちの良い「あいさつ」に努めて参りたいと考えております。

湯本 辰雄 議員



子供医療費について

問 現在18歳の3月までの子ども医療費は無料化だが、1レセプト500円の負担がある。県内には完全無料化の自治体が11ある。人口減の中、子育て支援策として、病院等で「医療費を支払わないで帰れる」完全無料化を求めます。

村民生活課長 コロナ克服の経済対策で、子育て世帯に10万円給付した。他にも子育て支援金を給付している。現在、県・市町村・受給者の3者で支えあうという制度は定着しているの

で、これからも受給者負担金500円をお願いします。

同性パートナーシップ制度について

問 「2月8日の信毎で、全国で146自治体が導入、全人口の4割以上をカバー。県内でも松本市が昨年導入」

今後の高齢化社会で、ひとり暮らしを迫られる方が、親族でない気心が知れた2人で共同生活が出来たら、心強く生きられます。この制度により、公的住居の入居や、病院での治療方針の決定などに対応してもらえれば安心です。村にこの制度の創設を求めます。

人権推進室長

この制度は現在県では導入されていませんが、今後検討されると聞いています。県内では松本市が導入し、長野市や須坂市でも検討している。個人として尊重され、多様な性や生き方を認め合い、個性や能力が発揮できる社会のために、県や近隣市町村の状況を参考に慎重に検討していきたい。



高井 央葉 議員



移住・定住対策について

答 新しい提案については慎重に対応して参りたい

問 移住する際に問題となる住居について新たな対策は。新設される定住支援室は具体的にどのような対応になるか。

村長

平成29年度から設置している「就農おためし住宅」の利用期間の調整を図るとともに、長期の滞在を希望される場合には、村営住宅の空き情報提供や、賃貸可能な空き家の紹介ができるよう、ご協力いただける対策を講じて参りたい。

新たな組織である定住支援室では移住・定住に関する業務が集約され、ワンストップによる迅速で親切的な対応が行えるようになる。

高校生通学補助について

答 より多くのご家庭にご利用いただくためにも、考えていかなければならない

問 現在の通学補助はある程

度利用もあるが、申請は現高校生の一部にとどまっている。ほかの対策は。

教育長

高校の始業時刻を仮に8時30分とすると、今のバスと電車を活用すれば間に合うと思われる。一方で現在のバスの補助制度を利用されないご家庭も多い事情は様々あり、一概にバスの時間帯が合わないことだけではない。県で行っている公立高校の授業料負担軽減策を踏まえ、地域の実情なども考慮する中で、通学の経費に関わる支援をさせていただくことが、各家庭の経済的負担軽減に繋がるものと考えているため、引き続きこの助成制度を広く周知するとともに、今以上に利便性を図ることが出来ないかなど協議していく。



滝澤 聖 議員



松川及び支流河川の河畔林整備について

答 緊急自然災害防止対策事業を導入し、護岸改修工事と併せて河畔林の整備も行っています

問 松川流域及び支流流域（杵沢川、樋沢川、淵の沢川、鎌田川、等）の面積は広範囲であり、河川敷と民有地との堺がよくわからず、自然に生えた樹木も数多くあると感じます、全体の河畔林面積や整備計画について答弁を求めます。

建設水道課長
一級河川の「松川、八木沢川、樋沢川」は須坂建設事務所が管理し、河畔林整備計画がないため面積は把握していない。村管理の「杵沢川、樽沢川、久保川、不動川、淵ノ沢川、鎌田川」などは村が管理している。杵沢川は令和2年事業により整備が終了となり、その他河川も村単独事業や国の災害復旧事業で護岸や河床の整備と流失危険木の除去が行われ、上流部の危険箇所も順次整備しています。村では毎年、県が管理する道路や河川、砂防事業などについて須坂建設事務所と「事業調



河畔林整備された杵沢川。

整会議」を開催し、砂防ダムなどの整備を要望し、県議会にも要望しています。河畔林整備についても加えたいと考えます。従って、河畔林整備については、河川パトロールによる監視とともに各区長さんより要望を聞きながら、特に危険性の高い箇所について計画的に整備したいと考えます。

常任委員会の名称及び所管が変更になりました

役場組織の課室名変更等に伴い、議会常任委員会名称及び所管が変わりました。



「周りの人」とより良い関係を築く

「コーチング講座」

～ 老若男女問わず活かせる3つのポイント～

コーチングアカデミー 長野校 校長

森田 舞 さん

1月21日(金)、村議会主催の令和4年新春講演会を開催しました。

例年は、行政側の理事者と議員の参加で行う講演会ですが、新型コロナウイルス又感染症感染拡大防止に配慮し、議員のみの出席とし、「周りの人」とより良い関係を築く「コーチング講座」と題してお話をお聞きしました。

コーチングとは
コーチングとは、「人の能力を引き出す」と注目されているコミュニケーションのこと。スポーツ選手の力の伸ばすコーチとのばせないコーチ、子どものやる気を引き出せる親となくさせてしまう親、部下の力を活かせる

上司と活かせない上司、それぞれ両者の違いを学問にしたものと言われています。

「個性」の違いを知る

人はそれぞれみんな違います。それは当たり前前で、気が合わない人がいることは普通のことです。逆に言えば、気が合う人に出会えたことは奇跡のようなことです。違つて当たり前、だから自分の思いを「押し付けない」、誰かと誰かを「比べない」ことが大切です。

「信頼関係」を築く

信頼関係を築くためには、安心感が大切です。同じ側にいる人⇨味方になつてくれる人に人は安心します。



話を聞くときは、
① 否定しない
② 話を取らない
③ 興味を持つて聴く
その3つがポイントだそうです。相手の行きたい未来の味方になりましょう。

心の「栄養管理」をしよう

とつておきの栄養源は「人の愛情」⇨思いやりや優しさです。プラスの感情を定期的に感じ、まずは自分の心の栄養管理をしましょう。自分の機嫌は自分で取つて、まずは自分が元気でいることが大切です。



講座を受講して
今回、初めてコーチングに触れる議員も多く、コーチング講座の中からすぐ使える要素をセレクトしていただきました。お話を聞くだけでなく、実際にどのように実践するのか、ワークを交えながらの講演会でした。今後の議員活動にもどんどん活かしていきます。



編集後記

令和4年度の新年度予算などを審議、議決いたしました。
村民の皆様の大変な税金を村発展の為に活用し「費用対効果」を期待したいと思えます。

村の長期計画や、人口減少対策にも全国的な現象だからしょうがないという事ではなく、若者世代の定住支援に低家賃の村営住宅、公営団地開発は必要不可欠ではないでしょうか。新しい希望に満ちた村造りが求められています。

さて、話は変わりますが、4月と言えば、入学式など節目の月でもあります。新型コロナウイルス、早期に収束を願つと共に、村民の皆様のご健勝で発展を祈念いたします。
最後になりましたが、皆様方のご意見やご要望など、身近な議員にお寄せ頂けたら幸いです。
(松本 茂)

| | |
|------------|-------|
| 発行責任者 | |
| 議長 | 西原 澄夫 |
| 議会報編集特別委員会 | |
| 委員長 | 黒岩 清道 |
| 副委員長 | 久保田雄吉 |
| 委員 | 柴田 弘男 |
| 委員 | 松本 茂 |
| 委員 | 沖島 祥介 |
| 委員 | 滝澤 聖 |

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 245-1100
印刷 / 株式会社 オフセット